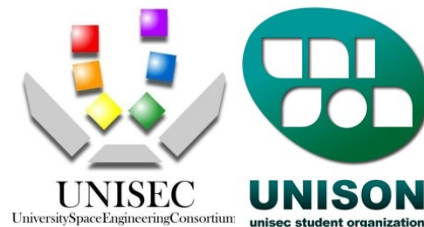


2013年度UNISONプロジェクト 成果報告

全国技術交流会

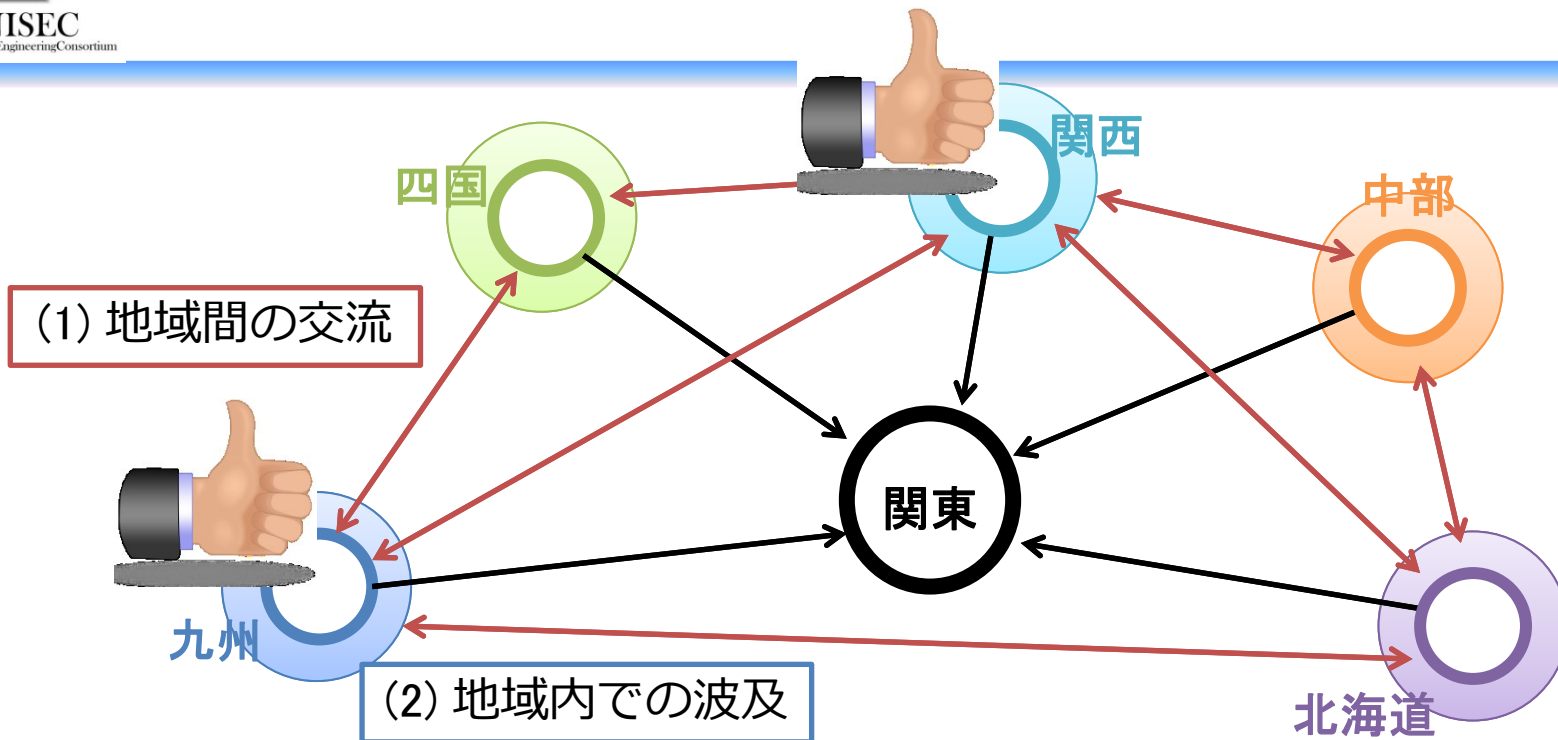
小西 隆介、大崎 大、嶋崎 信吾
(前年度UNISON代表)

2014/07/27



- UNISEC所属団体の技術力の向上
- 各地域におけるUNISEC所属団体の交流促進・技術向上

本プロジェクトの概要



- 理想とする技術交流
 1. 地域間での技術交流の連携体制
 2. 地域における他大学へのネットワーク構築

日本全体の宇宙工学技術の向上

- 2013/09/07 :
九州大学にて技術交流会についての聞き取り調査
- 2014/12/01 :
UNISEC WSにて全国技術交流会についてのアンケート調査
- 2014/03/25 :
全国技術交流会@大阪（会場：大阪府立大学）
- 2014/06/29 :
全国技術交流会@九州（会場：九州工業大学）

全国技術交流会@大阪府立大学

2014/03/25

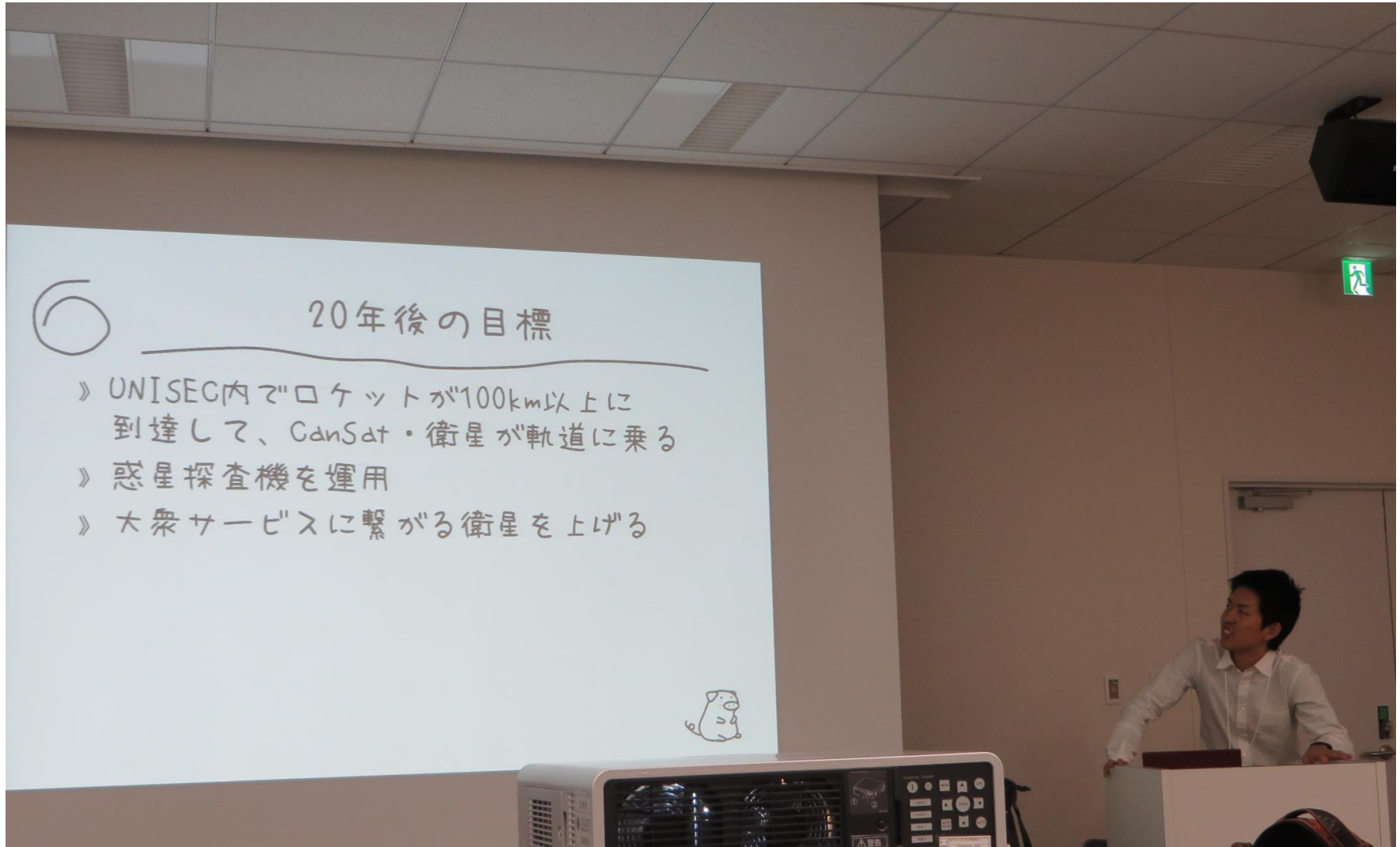
- 第1部 (13:00–15:00) :
 - UNISON主催講演会
宇宙開発合同会社AstreX会長 菊地秀明様
 - 学生発表 : 門倉美幸
- 第2部 (15:30–16:30) :
WGを超えた団体発表 (ポスター)
- 第3部 (16:30–18:00) :
ディスカッション
『20年後、UNISEC発の衛星を
UNISEC発のロケットで軌道に乗せるには?』

他のWGの技術を踏まえて、
最終目標を達成するには?

- 20年後、UNISEC発の衛星を
UNISEC発のロケットで軌道に乗せるには？
- これを実現するために・・・
- 衛星には何が必要だろうか？
ロケットには何が必要だろうか？
CanSatには何が必要だろうか？
- これらに加えて・・・
- 衛星から見て、ロケットは何が必要だろうか？
ロケットから見て、衛星は何が必要だろうか？
CanSatから見て、衛星・ロケットは
何が必要だろうか？

ディスカッション風景





全国技術交流会@九州

2014/06/29

- 第1部(10:00-10:50) :
UNISON主催講演会
キヤノン電子 早川義彰様
「キヤノン電子の宇宙ビジネスに対する取り組み」
- 第2部(11:00-12:30) :
WGを超えた団体発表 (ポスター)
- 第3部(13:30-16:30) :
ディスカッション
“UNISON Future Space Technical Discussion
-What will be needed to realize that spaceships or
Technology?-”

議論を通じて他のWGの
考え方や技術に触れる



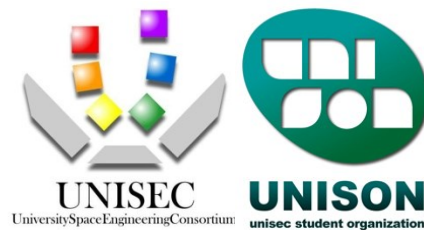


ディスカッション風景



- ヒアリング、アンケート結果を踏まえつつ、大阪と九州の2つの地域で技術交流会を行った
- その地域内の交流を持つ良い機会であった
- 地域間の交流という点では、未達成の部分が多い
(参加者8割：地域内の方、2割：関東+他地域の方)
→ 地域内での交流は「全国技術交流会」で、
地域間での交流は総会、WSで、という住み分け？
- Who's the next?
- ご協力頂いた全ての先生方、学生の皆様に感謝の意を表します

ご静聴ありがとうございました



UNISEC
UniversitySpaceEngineeringConsortium

UNISON
unisec student organization

バックアップ

- (最多回答) 近場であれば参加可能です
→ 各地域でやることの意義
- 技術交流会の頻度が少ない、機会があればしたい
→ UNISEC総会やWS以外での技術交流を！
- もっと意見交換ができる時間がほしいです
- 少ない団体数でより蜜に技術的な交流をできる場があればなお良い
→ 少ない団体数、長い時間での技術交流会を！

アウトプットのイメージ

3年後はロケットは
10kmに行ける！

4年後 5年後

WGを超えた視点で
ディスカッションを！

あな

1年後

5年後に軌道！

3年後にはCanSatを使って〇〇の実証をしよう！